

A 192
114
A5053

第二百九十七号

二葉半

明治七年十月廿七日横濱ヘラルド新聞抄録

大正十一年四月贈

伯靈ヨリタイムス新聞局ニ送リタル電報ニ支
那帝國西北ノ邊境ニ於テ魯西亞國ト争端ヲ生
シタル由ヲ載セタリ我輩是ニ依テ熟考スルニ
報告ノ信偽ハ容易ニ察ス可キニ非スト虽モ此
難事ハ必スクルジヤ地方ノ事ニ大ニ関涉スル
所ナランクルジヤハ當時ノ善因ニハプロリン
スクト記ス處ニシテ通常之ヲ魯領クルジヤ州

ト云く一七八百七十二年以來魯國ニ属ス遠路
隔絶ノ地ナレハ目今ノ景況ヲ知リ難シト虽モ
近頃マテ彼處ニ居留シタル旅客ノ告グル所ニ
從ヘハ當時魯人ハ此地ヲ指シテ未タ其属地ト
曰ハス但三四年以降内地ニ擾乱アルヲ以テ魯
人之ヲ保護スレハ公然支那ノ版圖ニ歸スルト
云ヘリ是レ頗ル稀代ノ事情ナレハ時勢計リ難
シト虽モ支那ノ政治ニハ往々此類ニテ解シ難
キト尚甚ク多シ此度ノ電報ニ曰ク魯國政府
テパセニハラチンスクヨリ支那國境ニ至ルマ

テ行軍ノ路ヲ開カント決定シタレハ此路直南
ニ向フ可キヤ或ハ東南ニ向フ可キヤ未ク定マ
ラスト我輩察スルニクルジヤヲ過キテ開クナ
ルヘシ然レハ其路程セニハラチンスクヨリ四
百五十マイル強ナリ又曰ク支那ノ兵魯領クル
ジヤ州ヲ襲ハントシテセニハラチンスク境ニ
屯スト此説モ亦疑フ可ク且ツ不分明ナル所ナ
リ其故ハ支那人若シブルリニスクヲ襲ヘハチ
ンシヤン北路ト云容易ニ進ム可キ道路アリテ
直ニクルシヤノ市街ニ達スル事ヲ得ヘキニ何

故アリテ北方ノ難路ニ目テセミバラチニス
クニ赴クヤ我輩ノ考ニテハ成シ難キナレハ
更ニ之ヲ解シ難シ恐ラクハ支那人難路ヲ越ヘ
險地ニ據ラ魯人ト戦ハント欲スルナルベシ然
レニ魯將ヤコロブバ既ニタリム河ニ沿ヒ
東ニ長驅シテ前途ニ在ル支那ノイリ州ニ注目
シ之ヲ防護ス可キ支那兵ハ官人ニ於テ之ヲ堂
々クル陸軍ト思ヘ凡其其ハ爲合ノ兵ニシテ一
事ヲ成サス徒ニハニニ屯シテ成業ヲ傍觀シタ
ルハ普ク人ノ知ル所ナリ今又事アルハ魯將ハ

タリム河ニ沿ヒブルリンヌク或ハクルジヤノ
南ニ向ヒチンシヤン南路ニ目テ進行スヘシ其
時支那人若シ軍畧アラハチンシヤン北路ヲ進
ミハミヨリ西ニ向テクルジヤノ谷ヲ越ヘ或ハ
魯人保護スル所ノ地ヲ回リテ南ヲ討テ魯將ノ
進路ヲ絶タン斯クノ如シハ支那人セミバラチ
ニスタ境ニ出兵シタルノ上策ナルベシ
右英漢新聞ヨリ抄出ス

石川大系記

談